

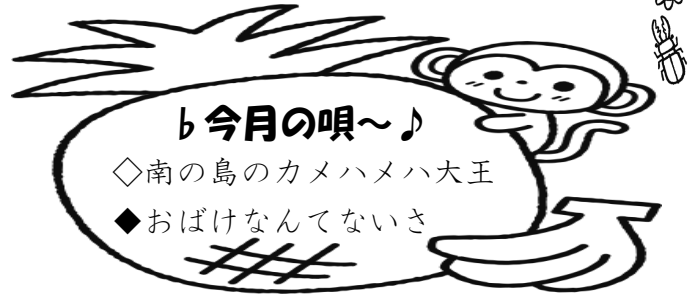


☆☆今月のテーマ☆☆

- ・夏ならではのプールや川での水遊びを楽しみ、水に慣れる！
- ・汗をかいた時は着替えや水分補給を心掛ける

～今月の園内学習～

- ・足し算…8の段
- ・掛け算…8の段
- ・数字カード…1～20の数字
- ・食べ物カード…今月の旬な食べ物
- ・漢字カード…小学校1学年で習う漢字30
- ・魚への漢字…「うつぼ」「はも」
- ・木への漢字…「まき」「くすのき」
- ・絵画カード…「出現」他
- ・歴史カード…「勝海舟」ほか
- ・ひらがなカード…「ま行」
- ・国旗カード…ケニア他アフリカの国々
- ・地理カード…京都府ほか九州地方
- ・声に出して読みたい日本語…寿限無ほか
- ・英会話…動物、曜日、季節の種類

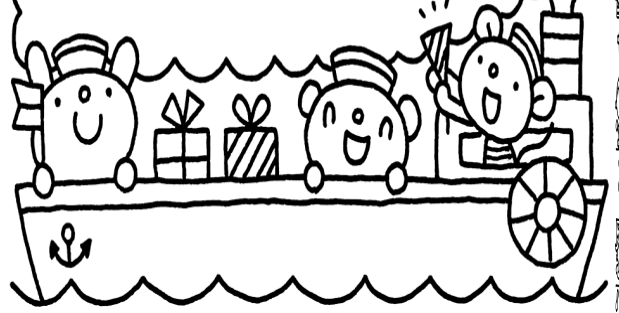


～保育のポイント～

ヒトやモノが国境を越え自由に行き交うグローバル時代で言葉・文化の異なる人間同士のコミュニケーションツールとして言語影響力指数(経済、外交などの5つの観点)から見て、世界ではやはり英語が断トツの1位。ただ、昔から日本人の英語力は世界的にも限定的なアジア地域でも下位に甘んじているのが現状です。それはアメリカ国務省の外交官養成局が「日本語は英語のネイティブスピーカーにとって超難関言語に分類されている」ことから理解できるように、日本人にとっても(単語・文法・発音の)言語の基本要素全てにおいて全く異なる英語習得は難しさがあると言えるでしょう。もう一つの、しかも最大の要因としてバイリンガルの子を10年間にわたり研究した米国の言語学者レオポルドの「外国語の習得は10歳を過ぎてからでも不可能ではないが、よい成績を収めることは不可能である。なぜなら、それは反生理的だからである」の言が象徴的に表わしています。すなわち、幼児期に海外で過ごした子が何の抵抗もなく英語を繰り出す姿を見れば合点がいきます。つまり、6歳までの幼児は自律神経が「お休み神経」と言われる依存型のゆるやかな働きをしていると言われ、頭脳が集中し、その集中を妨げる他の要素を排除するα波が働きやすいので同じことを同じ時間学んでも、特に記憶しようと思わなくても楽に記憶できるそうです。それは丁度、スポンジが水を吸うような吸収力抜群な効果を発揮すると言えます。ですから、α波は言葉の習得に不可欠なのですが、6歳を過ぎる頃から、段々と(五感全てから情報を得る)β波に移行するので語学習得が難しくなるということです。幼児期の過ごし方が言葉だけでもこれだけのことが言えますので一工夫していくことが求められているように感じます。 ～「右脳」子育て 七田真著より～

～行事予定～

- ・リミック…1日 [年中・年長]
- 29日 [年少]
- ・避難訓練…3日
- ・書道教室…3日・24日 [年長]
- ・体操教室…18日 [年少]
- 21日 [年中・年長]
- ・えいご…22日
- ・身体測定…22日
- ・8月お誕生日会…24日
- ・音楽教室【ピアノ&トロンボーン】…28日



さくら組だより

最近、朝の天気予報で「熱中症に～」との注意喚起が耳にすることが多く、実際に日マジッとしていてもジワ～と汗ばむ天候にホトホト困り果てる感じがする今日この頃。ですから、こどもたちはコロナ禍から解放され、プール遊びが解禁された今年は水あそびが救いとなっているようです。当初はいつもの「先生、手伝ってえ～」だったのが、要領を得た今は自分ペースで着替え、水あそび後の水着やバスタオルを畳んで片付けするということにも進んで取り組んでいます。肝心の水あそびはというと、プールの中で身体全体にシャワーを受けてクールダウンをしたり、水鉄砲やジョウロでお互いに水の掛け合いで盛り上がり、中にはプールの端に手をかけてバタ足練習に余念のない子いたり様々で、楽しんでます。出来れば、毎日でも水あそびが出来ればいいのですが、製作などの予定もあり、そんな時は外でしゃぼん玉遊びで大はしゃぎのひとつときとなっています。仲良しこよしのみんなではありますが、まだまだ「我」を前面に押し出し、ぶつかる場面もありますのでよく見守り、お互いの意思疎通が通い合えるように仕向けていきたいと思ひます。

ひまわり組だより

最近ではへばりつく、じととした湿気にダメ押しをするような猛暑日に近い気温の日々が続いていることから早くも夏バテ気味となりそうな今日この頃。こんな時は一も二もなく頭からずぶりと水浴びをしてクールダウンが何よりも効果がありそう。ということで、梅雨明けを控えた7月始めから水あそびが大盛況となっています。プール解禁の今年は顔つけしたり、バタ足練習したりとシャワー遊びのみの昨年と比べると大盛況となっています。また、水あそび玩具も昔ながらの筒状のものから最新の水鉄砲を取り揃えて水掛け合いごっこで大盛り上がりとなっています。この厳しい夏模様は長引きそうな気配ですので水あそびは外せない日々が続きます。また、七夕会では由来などをクイズ形式でしっかりと学んだ後、お願いごとをしたための短冊などの七夕飾りで園内の雰囲気もパッチリ整ってきたところで最後の締めはみんなで織姫と彦星コスチュームに身を包み、恋いし焦がれるペア気分になるひとときで楽しみました。最後は行事食で大満足の七夕会となりました。

ゆり組だより

7月への月替わりカウントダウンが始まる頃から猛烈な勢いで上昇を続ける不快指数…ということで、梅雨明けの有無に関わらず先月1日にはプール開きとなりました。年長組ともなると、水着に着替えや脱いだ服の片付けなど水あそびの手順は心得たものでササッと自らできるところが流石だと感心させられます。プールやシャワーなどの水あそびは玩具での水遊びやプールに寝っ転がったり、バタ足練習など思い思いに楽しんでいます。また、室内では七夕会を年長者として盛り上げてくれ、独自のカリキュラムとしては絵の具活動や鍵盤ハーモニカに挑戦中です。まずは前者の方は夏らしい「カラフルなさかな」をテーマに予め外観を描いておいた魚のうろこ部分をめいめいが単色だけでなく混色も駆使して色鮮やかな魚が水中を楽しく泳ぎ回る様子を仕上げていきました。後者は練習用に鍵盤に貼った音階シートをまずは綺麗にし、練習では演奏上で必要な指の運びかたの「運指(うんし)」を学ぶことにしました。やり始めは何でもそうでしょうが、慣れていない分、思うようにならないことへの不安や不満などが大きな壁として立ちますが、それも「慣れ」が解決へと導いてくれるでしょうからそれぞれの活動がこれから軌道に乗っていけるように見守っていきたく思います。

給食室だより

～夏野菜パワーと生活リズムの維持で元気に！～

今年も梅雨が明け、これからはキラキラの太陽の日差しを受け、さながら「蒸し風呂状態」で発汗を補うのに冷水を口にしがち…また、日中は外気と室内の温度差で体温調節の自律神経がバクシ、夜の熱帯夜による寝不足などの要因が重なり、ついには全身のだるさや疲労感などの夏バテ症状に陥りやすくなります。そこで、夏バテ予防対策として適度な運動と規則正しい生活リズムを保つようにし、生活のポイントとしては①食欲減退期は食べやすいそうめん等に頼りがちですが、栄養バランスが崩れがちですので(少量でも構わないので)1日3食、消化によい(肉、卵や牛乳など)たんぱく質や(野菜や果物など)ビタミンと(牛乳など)ミネラルをバランスよく摂ること②夏野菜は水分、ミネラルやビタミンB群などの栄養素を多く含むので食欲がない時こそ上手に摂取し、脱水症予防にも効果的です。また、オクラなどのネバネバ野菜は弱った胃の粘膜を保護し消化吸収を助けてくれます。③冷たい飲料は胃腸の機能低下を招くばかりか、冷たいアイスやジュース類は本来の甘味が感じられず、糖分による満腹感で食欲減退を引き起こすことにもなります。電子レンジなどを活用して温かい料理を摂るようにしましょう。④疲労回復には(柑橘系果物の)クエン酸で疲労の原因となる乳酸を排出してくれる効果があるので摂り入れていきましょう。これらで日本の夏、蒸し風呂状態を克服し元気に楽しく過ごしていくようにしましょう。